

平成19年8月6日

各 位



財団法人メディポリス医学研究財団
代表者名 理事長 永田 良一
問合せ先 事務局長 本田 知章
(0993 - 23 - 5188)

メディポリス医学研究財団(平成18年3月20日設立、理事長:永田良一)は、同財団を事務局として、九州・山口粒子線がん治療研究連絡協議会を立ち上げ、近年増加してきている乳がんをはじめとするがんの粒子線治療の臨床研究を行う土台を築くとともに、兵庫県立粒子線医療センター(院長:菱川良夫)と連携する構想を策定しましたので、お知らせいたします。

記

メディポリス医学研究財団(鹿児島県指宿市東方4423番地)は、メディポリス指宿において、平成23年度に粒子線がん治療研究センターを開設する予定です。この医療施設では、粒子線(陽子線)を用いて、からだに優しいがん治療の実践により、県民はもとより、国内外のがん患者さんのQOL向上に大きく寄与することを目的としています。また、粒子線研究治療の先進施設である兵庫県立粒子線医療センター(院長:菱川良夫、住所:兵庫県たつの市新宮町光都1丁目2番1号)と連携して、新しい治療法となる乳がん等の粒子線治療を確立することを目指します。

併せて、九州・山口粒子線がん治療研究連絡協議会のメンバーへは、事務局から、粒子線治療に関わる新しい情報を提供してまいります。また、兵庫県立粒子線医療センターの協力を得て、日本における粒子線治療専門医の研修、放射線技師の研修、医学物理士の研修、加速器の運転・保守研修などを支援していく方針です。また、粒子線治療の臨床に関わる日本で唯一の研究会である、日本粒子線治療臨床研究会にも参画し、日本の粒子線治療の発展と研究会の学会昇格を支援して参ります。

【備考】

1. メディポリス医学研究財団は、がんを中心とした疾患の診断および治療に関する研究、ならびに予防医学やこころのケア等に関する研究や事業を行い、国民の医療向上や安心して生活できる環境の構築を目指し、健康増進に貢献することを目的に設立された公益法人です。

当財団は、鹿児島県指宿市に「南九州から世界に向けて“光”を放つ医療」を基本コンセプトとして、粒子線治療施設をはじめとする高度先端医療センターを整備する他、予防医学、こころのケア、創薬臨床研究の各拠点を整備するプロジェクトです。総敷地面積103万坪を有する施設には、予防医学センターと、こころのケアセンターが、平成19年6月から稼働を始めています。



粒子線がん治療研究センター完成予想図

2. 粒子線治療は、陽子や炭素等の重粒子を用いた放射線治療の1つで、従来のX線やγ線などの光子線による治療に比べ、患部に集中的に照射できるという特性があり、治療による副作用や身体の機能の損失を最小限に抑えられます。国内では平成6年から臨床試験が開始され、平成13年7月に先進医療として認可されました。現在、国内では粒子線治療の施設として、兵庫県立粒子線医療センターはじめ6つの公的医療機関で治療や臨床研究が行われています。

3. 日本粒子線治療臨床研究会; Japan Clinical Study Group of Particle Therapy(JCPT)。

事務局、放射線医学総合研究所重粒子医科学センター、病院データベース室。世話人代表、菱川良夫(兵庫県立粒子線治療センター院長)。わが国における粒子線治療に関する臨床研究を深め、粒子線治療技術の向上ならびにその普及等に寄与することを目的として、国内の粒子線治療施設を中心に平成16年4月に結成されました。「粒子線治療市民公開講座」の開催等の活動を通じて、粒子線治療の健全な発展と普及に貢献しております。

以上